

わたくしたちの町
人口 男 4,754人
女 5,178人
計 9,932人
5月中の転入 13人
" 転出 31人
世帯数 2,208人
(6月30日住民登録人口調)

広報あのかわ

合川町広報

No. 193

発行日・47.7.25(2,700部)

発行・秋田県合川町

合川町役場

編集・企画課



有史以来の大水

集中豪雨は、河川の大はん乱を誘発、町内を分断。

写真は、西根田部落を孤立させた大洪水。

水害特集号

狂った豪雨町内を襲う

一瞬にして九億六千余万円の損害

六日夜から、県内一帯を襲った大雨は、九日朝まで降り続き降雨量森吉山で三二九、萩形で一六七、五という記録的な大雨となりました。

この大雨で、小阿仁川・阿仁川は大はん乱各所で庄上浸水、堤防、道路の欠壊、田畑の冠水など被害が続出し、一面泥海と化し、これによる被害は九億六千万円というぼう大な額に達しました。

人身事故ゼロ

百八十六世帯に避難命令

この豪雨は、日本海から北海道にかけて、梅雨前線が停滞したためにおこったもので、床上浸水百二十三世帯、半壊二世帯、床下浸水百十五世帯、田畑の流失、埋没二十八haなど、大きなツメ跡を残しました。

羽根山、西根田、増沢部落も孤立の状態になりました。町では、増々降り続くと思われる雨に対し万全の体制を整えるため、八日七時町長を本部長とした、合川町災害対策本部を役場に設置しました。

その後も雨量はふえ続け、萩形ダム、森吉ダムが貯水限界になり、危険な状態と判断したため、ゲートを開にして放流するとの通報を受けたので、本部では八日十時道庁、増沢など十一部落、百八十六世帯に対して避難命令を発令し、広報車で伝達しました。

民生関係

床上浸水百二十三戸

家屋被害は、住家の半壊二戸、床上浸水百二十三戸(五百九十六人)、床下浸水百十五戸(五百四十八人)となり、被害総額二千七百二十万円

林業関係

林道孫七沢線、関の沢線、約東沢線が道路の崩壊、増沢線が木橋流失で被害額七百三十一万円。

その他摩当、羽根山など七ヶ所で地すべりがおき、総額一千五百六十五万円の損害を受けました。

農業関係

田畑の浸冠水九百九十九ヘクタール

カントリーにも浸水

農業関係では、総被害額二億八千六百二十三万五千円、田畑の浸冠水九百九十九ヘクタール、埋没、流失

商業関係

製材業三社、砂利採取業二社が製品流出、建物器具損傷で二千九百十二万円。商店は、六店が床上浸水により商品流出、設備破損などで、百五十三万円の損害。

公共施設

合川中学校は校舎の浸水による内部設備の破壊、陸上競技場、野球場の土砂流入、埋没で四百四十万円の損害。

合川診療所も床上浸水により建物、内部設備機械とくにレントゲンの破損、医薬材料の汚損などで三百万円の損害になっております。しかし、職員の適切な指示で患者さんは、母子センタールに全員避難して事故はありませんでした。

また、増沢公民館、羽根山公民館も浸水により内部破損、合川南、合川西小学校は給水施設の配水管が破損をうけ、二百五十四万円、ゴミ処理施設は作業員控室の基礎崩壊五十一万円となり、被害総額は一千五百五十五万円にのぼりました。

災害救助法の適用受ける

豪雨により被害の甚大であった町に対し、県では、十一日午前十時災害救助法の適用を決め、ただちに被災者への救援活動、復興対策を進めました。これにより、当町は物心両面の援助が受けられたことになり、一層復興がスムーズに進められることが出来た。

災害復旧資金の相談を受付中。

災害復旧のため必要な資金の相談を受付けていますので、建設課、福祉課へ問合せ下さい。

復興に全力を

合川町長 畠山義郎



このたびの水害は、全く未曾有のこと、被災者の皆さんの労苦は大変なものであります。町としては、国・県

土木関係

五億八千万円道路六十九ヶ所欠壊、流出

被害が一番大きく、県関



◆ゴミ、流木の山・根田橋にひっかかったゴミ、流木を必死に除去する人達



◆浸冠水した田んぼに薬剤散布・減水とともに始められた、
薬剤散布で防除の徹底
(道城地内)



◆おしよせる濁流・おしよせる濁流に、万全の体制を整える
(三木田)



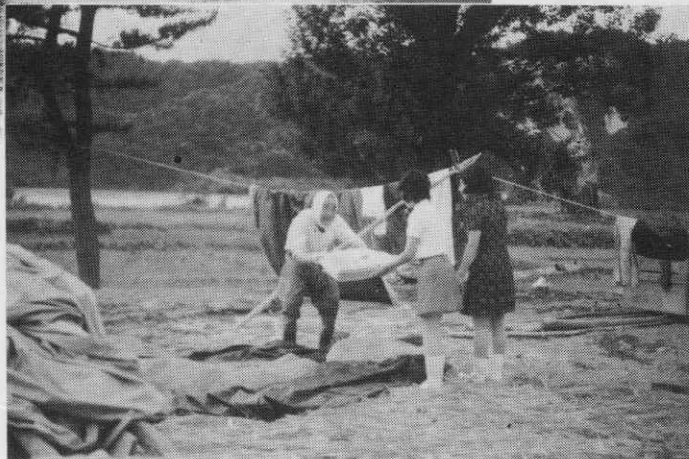
◆立ちあがる住民・水のひき始めとともに、部落総出で復旧にあたる。
(川井地内)



◆がけくずれ、住家を半壊・雨により地盤がゆるみ土砂が住家に流入、家屋半壊(芹沢)



◆道路一杯にあふれだした濁流・町中が濁流に見舞われ最大の家屋被害を受けた増沢部落



◆ガンバッテください・被災した方々に救援物資を届ける役場職員



◆もぎとられた路肩・濁流により延長210mも路肩をもぎとられる。(町道羽根山沢線)

昭和四十七年七月豪雨災害日誌

7日	集中豪雨発生。	12日	定発表、県道木戸石、美栄間復旧、林道災害調査班来町。
8日	町長、助役、収入役以下各課長を招集。19時、災害対策本部を設置。	13日	秋田営林局長、萩形ダム所長、北林、大沢県議、災害見舞来町。県砂防課長、調査来町。(八幡岱、芹沢の土砂くずれ) 県議会土木委員会、災害視察来町、陳情書を提出。
9日	北地区、電話不通。道城堤防補強工事を実施。	14日	建設大臣東北地区災害視察。(於二ツ井町) 建設省、緊急災害のため査定官来町。NHK、ラジオ、テレビ相談所開設協議のため来町、災害見舞を受ける。
10日	町職員全員招集(8時30分)、出勤できない職員に対し、所在部落の状況調査を指示。	15日	県道、木戸石、増沢間復旧。
11日	各地に被害続出。土木事務所、東北電力、電々公社、秋北バスに協力を要請。公共土木の被害に対し、個所別に応急措置を業者に指示。	16日	農林省林業関係視察、陳情書を提出(於北秋田総合庁舎) 森吉ダム6t放流通告。
12日	県災害対策本部に災害状況の中間報告。主要町界道の復旧活動を開始、8時から17時まで、六ヶ所開通。	17日	町道、羽根山、羽立間復旧。
13日	町長、役場職員に対し、災害緊急体制を指示。同時に、被害状況調査班を編成。道、県道五ヶ所復旧開通。	18日	自民党参議院上田稔、梶木又三議員調査来町。陳情書を提出。社会党調査団、東北地区視察。(於二ツ井町) 県教育委員会総務課、災害調査のため来町。
14日	町議会全員協議会を招集。引き続いて、	19日	県環境保健部長、県知事代理として災害見舞来町。
15日	町議会全員協議会を招集。引き続いて、	20日	佐々木義武氏議士災害見舞来町。
16日	町議会全員協議会を招集。引き続いて、	21日	各地より救援物資到着。
17日	町議会全員協議会を招集。引き続いて、	22日	山崎五郎大蔵政務次官災害見舞来町。
18日	町議会全員協議会を招集。引き続いて、	23日	県災害対策本部より救助法適用に伴う事務指導のため来町。参議院災害対策特別委員(各党代表)災害状況調査のため鷹巣町へ。陳情書を提出。



◆カントリー孤立・阿仁川大はん乱でカントリー孤立、地上設備に大損害をこうむった。

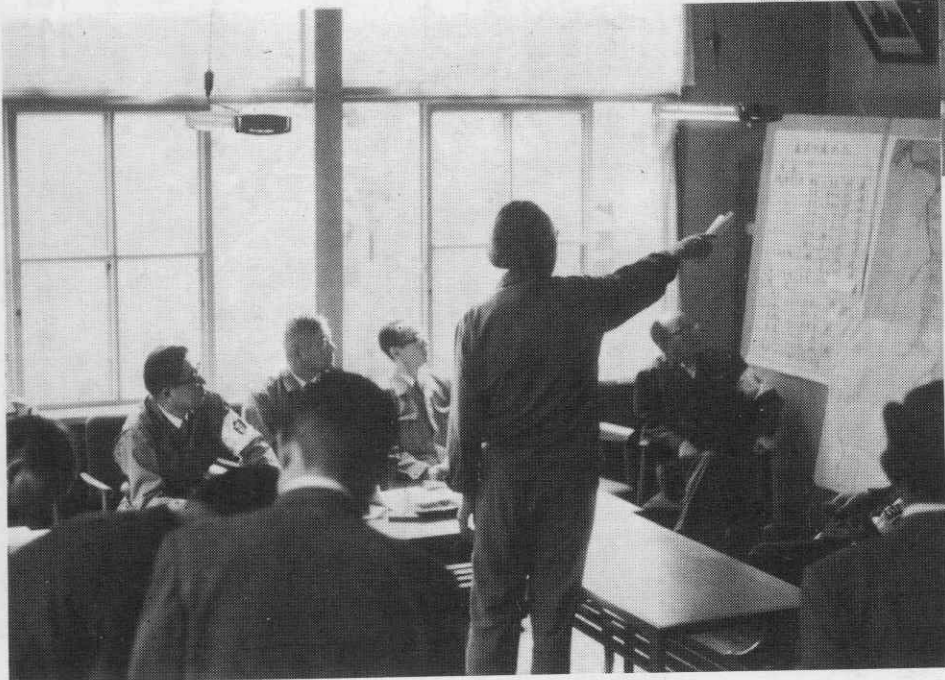
◆無惨!!・濁流にのみこまれ、埋没した田んぼ(芹沢地内)



◆モウ、まっぴらごめんだ・この高さまで、水が上ったのじゃ。濁流は住家、家財道具も水びたしにして去っていった。
(木戸石部落孤立地区)



◆現地調査団続々来町・現地調査団(自民参議院議員一行)に災害状況を説明する町長



◆必死の警戒・午前1時、水かさは増すばかり。必死の警戒体制に救援ボートも登場。
(羽根山)



◆一面泥海・警戒水位を2mも越した小阿仁川、一面が泥海と化し怒濤のように流れまくる。
(芹沢地内)



◆トラクター大活躍・車が通行不能となったため、トラクターで部落民を迎える(羽根山部落)



◆水魔のツメ跡!!・ズタズタにされた、用排水路は見る影もない(羽根山地区)

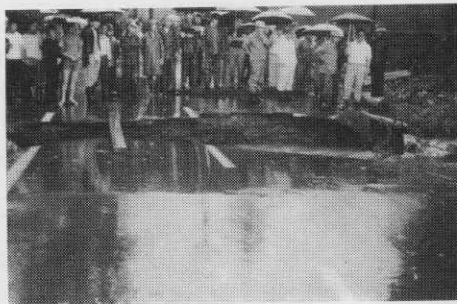


◆ヘリで空中防除・飛行前薬剤を塔載、空からの防除徹底を図る



◆増沢公民館も水浸し・給食施設など内部に大損害をあたえた。

◆雨のあがるのはいつ・目の前の道路が大きく流出したにもかかわらず、手のほどしようがない。
(木戸石地内)



11日 災害救助法適用(10時) 救援物資到着、すぐ配分。
 県議会副議長、県町村会副会長災害見舞来町。災害調査書決集。

20日 県議会農政委員会 災害視察のため来町。陳情書を提出。
 27日 石田博英代議士、水害見舞に来町。
 28日 農地緊急査定官一行来町。

現地調査の後、災害対策特別委員会の設置を決め、会議を招集。

救援物資配分完了。

関係機関の対策

必死に進められている復旧作業

四日間寸断なく降り続いた豪雨は、町全域至る所に大きなツメ跡を残してしましました。

これら被害に対し、現在なお復旧作業がつづけられて居りますが、今後の対策について、各々関係機関にたずねて見ました。

農林関係

異常災害で

受益者負担減免

この度の農地災害は、圃場整備直後で地盤が軟弱であつた関係もあり、耕地の流失、欠損が多くなつています。

町では、まず幹線用排水路を中心とする農地災害の総点検を実施し、応急措置としてその復旧について、各業者に指示しました。

今後の復旧については、緊急査定、一般査定を七月から八月までに受け、工事に着手することになります。

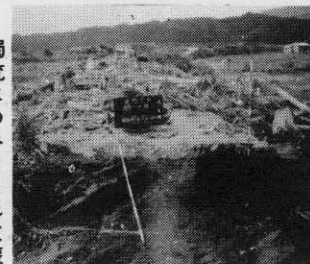
小災害（三万円～十万円未満）についても、受益者と町の共同責任で積極的な復旧活動を進めます。

この場合、5%の受益者負担があることになっていて、今回の異常災害の実態から減免される方向が、七月二十一日開かれた災害対策特別委員会や二十四日の受益者会などに提案され了解が得られました。

土木関係

年度内の全面復旧を強く要望

県道、町道合せて六十九ヶ所、橋りよう八ヶ所が欠損、流失したが、交通の円滑化を早めるため、減水と



濁流にのみこまれ欠損した町道李山川井線

復旧工事については八月月上旬建設者の緊急査定を行ない、主要路線（緊急度の高い）から順次本工事に着手し、年度内の全面復旧を関係機関に強く要望しています。

営林署（合川管内）

損害額

二千六百万円

新しい事業地域に目立つ被害

合川営林署管内も、かつてない程の大被害を受け、損害は約六千五百万円にも達しました。

被害箇所は、ほとんど応急措置を講じたが、業務正常になるのは八月一日以降の見通しです。

合川事業区のなかで、特に芦沢流域、大増沢流域の

農協

病害虫防除の徹底

現在一番恐れることは、

病害虫の発生であるから、各部落協業組合の組織をフルに活用するなど、関係機関の協力を得て、防除徹底に努めております。

埋没、流出をのがれた、田んぼはもちろ、初年度における通年施行の田んぼでも現状の稲の姿では、病害虫を防ぐことにより、平年作を下らない見通しです。

土地改良区

総動員で現地調査

査定設計書作成中

水路欠損、流出によつた緊急地区は四箇所におよんだが、早急に工事を進めたい。緊急措置を講じ、稲の枯死をふせいでいます。



農道流出で整備された田んぼもメチャメチャ

現在この部分は調査も済み、業者に仕事をとり組んでもらつており、今月二十八日の査定を待つだけと願つております。

共済組合

収穫皆無地に対し共済金の仮払い実施

共済から見た場合の被害面積は、全体の三割以上、六百四十haにおよんでおり、収穫全無地無地に対しては共済金の仮払いをおこないます。

また、冠水地帯に対しては組合が推進母体となつて、ヘリコプターにより共同防除無償散布をおこない、病害中発生源撲滅に努めます。

なお、現在は収穫皆無地に対してだけ共済金の支払いをしますが、その他は九月の収穫期を待つて、損害評価を行ない順次支払いすることになります。

電々公社

諸問題を考慮本工事に着手

仮工事により、全線通話は出来ましたが、跡整理出来るのは今月一杯の見通しです。

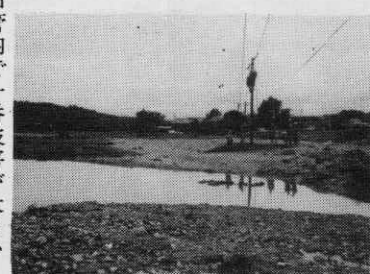
予想外の集中豪雨になり多大な被害を受け、損害もばく大になりましたが、本工事にあたつては、今回の色々な問題、場所、ルートなど充分に考慮の上、秋田電気通信部と検討し、今後利用者のみなさんに不便をかけないようにしていきます。

東北電力

復旧は全力投球

流出した電柱四本、倒壊九本、傾き二十五本と北秋

他管内の応援を得全線開通に全力投球



使用農業はカスミンエル原液で、一千二百五十四立方使用されました。

経費の内訳は、農薬代百五十六万五千円、散布料百十九万三千円、労務費、資材費、事務費十五万一千円、計二百九十九万九千円となりこれを共済組合四分の二、町、農協それぞれ四分の一を負担することになります。

本来であれば、各部落の協業組合が、大型動力噴霧機で防除をする予定でしたが、水害による農道や水路の欠損によつて、フル回転が出来ないという判断のもとに決められた、緊急体制の一貫という事になりました。

しかし、今後なお発生することが予想されるので、関係機関との協調により防除活動を徹底させるよう望まれています。

伝染病発生源の防除徹底

町では、九日から十一日の水の引きはじめとともに、保健課を中心に役場職員を総動員して防疫活動を開始しました。

床上、床下浸水の多かった、増沢、木戸石、羽根山など九部落に対し、ミケゾール、クレゾールによる、伝染病発生源の徹底防除を図つたものです。

今後被災者の健康管理、飲料水の確保など保健衛生上の問題がおきてくることも予想されますので、保健衛生指導員、町保健婦などと充分な連絡をとり、万全な対策をたてるようお願いいたします。

お見舞品寄贈者

このたびの集中豪雨に対し、各方面からたくさんのお見舞品が送られてきました。

また、災害救助法の適用を受けたことにより、県からも多くの物資が配布されました。

対策本部では、さっそく福祉課を先頭に総動員、十八日までに罹災者の皆さんに全部届けることが出来ました。

次の方々から、お見舞品をいただきました。厚くお礼申し上げます。

●秋田県 毛布百三十〇枚、丸首シャツ二百三十八枚、タオル三百九十本、毛布三十三枚、掛布団十九枚、マツトレス十九枚、敷布百六十五枚、タオルケット三百四十七枚、タオル四十五本、百四十三万円（半壊一戸当り拾万円、床上浸水一戸当り一万円）エンピツ、ノート、バスタオル四十四組（小学生対象）エンピツ、ノート、バスタオル二十三組（中学生対象）

●花岡土建 酒五升

●秋田県議会 五万円

●NHK秋田放送局 タオル二百本

●秋田県町村会 三拾万円

●新潟十薬房 三万円

●富山五薬房 三万円

●下大野郵便局 ハガキ、切手九十一戸分

大館市

二万円

合川郵便局

ハガキ、切手二十八戸分

NHK共同募金会

三万円

日本赤十字秋田県支部

毛布百二十五枚、タオル百二十五本、醬油二十一箱、塩五袋

東京静思交友会

ゴザ三十五枚、タオル二百本

山二施設工業K・K（秋田市）

二万円

秋田県知事

拾万円

国民年金課長

酒二升

曹洞宗事務所（秋田市）

一万円

全国町村会

六千円

高橋ヒノ

五千円

田辺営業JRC

衣料

朝倉あやえ

衣料

東北開発株式会社

セメント、四〇K入三〇袋

尚、当町においては見舞金五拾九万円（一戸当り五千円）をはじめとし、クレヨン、バスタオル、エンピツ二十三組（保育園対象）の学用品、粉石けん百二十五箱をお送りいたしました。

